

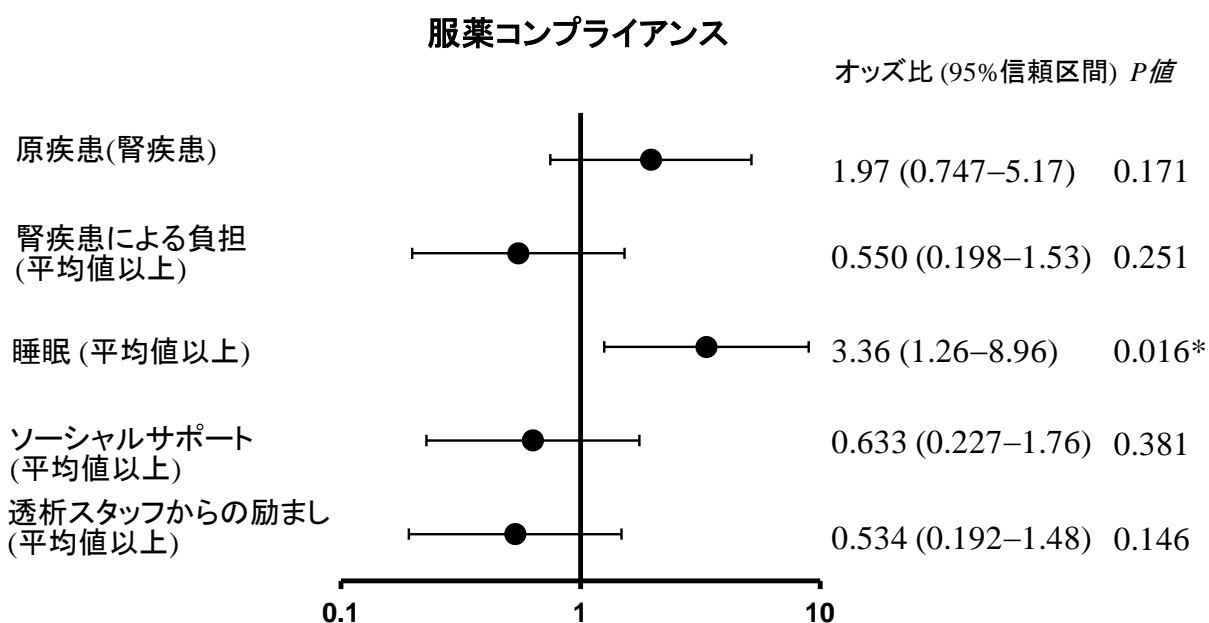
## 透析患者の QOL が服薬コンプライアンスに及ぼす影響に関する研究

透析治療を受けている患者は QOL が低下することが知られています。QOL の低下が服薬コンプライアンスに影響を及ぼすと考えられますが、その影響については明らかにされていません。本研究では透析治療による QOL の低下が服薬コンプライアンスに及ぼす影響を検討しました。

対象はセコメディック病院および千葉中央メディカルセンターで透析治療を受けた患者うち、薬を自己管理している患者 92 人としてしました。調査項目は年齢、性別、透析期間、EQ-5D、KDQOL-SF および服薬管理状況としてしました。患者の服薬コンプライアンスを従属変数、患者の QOL を独立変数として多重ロジスティック回帰分析を行いました。

回収率および有効回答率は 100% でした。「服薬コンプライアンス」を従属変数、単変量解析において  $P < 0.20$  であった「腎疾患による負担」、「睡眠」、「ソーシャルサポート」、「透析スタッフからの励まし」および「服用回数」を独立変数として多重ロジスティック分析を行った結果を図 1 に示しました。「睡眠」(平均値以上) [オッズ比、2.96; 95%信頼区間、1.10–7.97;  $P = 0.032$ ] において有意差がみられました。このことから、睡眠の QOL が高い患者で服薬コンプライアンスが良好であることが明らかとなりました。透析患者の睡眠の質の改善が服薬コンプライアンスの改善につながると考えられます。

図 1 服薬コンプライアンスにおける多変量解析



\*  $P < 0.05$ , OR: odds ratio, CI: confidence interval

本研究により、患者の睡眠に関する QOL が高いと服薬コンプライアンスが良好であることが明らかとなりました。患者の睡眠を含む生活習慣の支援を考慮した透析治療およびケアを行うことにより、透析患者の服薬コンプライアンスの改善につながる事が考えられます。

**【発表論文】**

Hiroyuki Nagasawa, Tomoya Tachi, Ikuto Sugita, Hiroki Esaki, Aki Yoshida, Yuta Kanematsu, Yoshihiro Noguchi, Yukio Kobayashi, Etsuko Ichikawa, Teruo Tsuchiya, Hitomi Teramachi, The Effect of Quality of Life on Medication Compliance Among Dialysis Patients, *Front. Pharmacol.*, 9:488.doi: 10.3389/fphar.2018.00488, 2018.